下呂発温泉博物館

下呂発温泉博物館では、来館者は温泉（オンセン）は単なる入浴ではないということを学べます。この博物館では400点の展示物を通して、下呂や日本の温泉についての文化、歴史、及び科学的知見が、家族連れも楽しめて充実の内容で紹介されています。2セクションに分かれており、小説や学問書を多数所蔵している居心地の良い図書室も備えられています。

博物館の1つ目のセクションでは、温泉体験の裏にある歴史と文化が紹介され、特に下呂が大きく取り上げられています。日本では過去数千年間、温泉に一緒に入るのが文化的な娯楽とされてきました。来館者は日本に数多くある温泉についてや、それぞれでどのように異なった体験ができるのかを学ぶことができます。ここで展示されているものには、日本中の温泉町からのお土産や、日本の温泉のランキングを掲載している19世紀の新聞などがあります。

博物館の2つ目のセクションでは、温泉に関する科学的知見が紹介されています。立体ジオラマを用いて、温泉の天然の熱源についてや温泉町ではどのように温泉のお湯を浴場まで運んでいるのかが説明されています。ハンズオンのゲームや展示は教育的で、子供も大人も楽しめるものになっています。

博物館の順路の最後には、「薬師の足湯」という足湯が設置されています。この水深の浅い足湯では、来館者はまず熱い部分に足を踏み入れ、歩いて進むごとに水温が下がっていきます。また博物館では、温泉について学んだ直後に、実際に温泉を体験することもできます。